

基本構想の修正案

第1回審議会ですいただいた意見の概要

①スローガンの設定

神戸は、海と山に囲まれた
美しい“みなとまち”です
開港以来、海外との交流を重ね
文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、“多彩な表情を見せるまち”です
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も
毎日違う風景を見せてくれます

神戸は、人間らしい
“あたたかみのあるまち”です
幾度となく困難を乗り越えた絆
多様性を認める明るい気風
いつでも神戸は
すべてのひとをやさしく受け入れます

②多様性の解釈

これまで神戸には多くのものが
受け継がれてきました
これからも神戸は
世代や立場を超えた繋がりの中で
未来に向けて進んでいきます

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら
それぞれの夢を実現できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなす
ゆとりある暮らしができるまちへ

世界を臨む海や空からひとが集い
新たな価値の創造に挑戦し続けるまちへ
まちの歩みとテクノロジーの融合により
グローバルに貢献するまちへ

神戸は、いつまでもまちの“誇り”を育み
次代に紡いでいきます

③産業・しごとの観点の必要性

④片仮名表現の具体化

⑤表現方法の統一

第1回審議会ですいただいた主な意見

項目	内容
①スローガンの設定	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達でも分かるoneメッセージが必要。神戸をひと言でまとめるのは難しいので、抽象度を上げた表現はどうか。 ・スローガンの有無についてパブリックコメントを行ったり、スローガンを公募で募集するのもいいのでは。 ・神戸は多様なまちであり、ひと言で言い表すスローガンは難しい。下位計画に任せてもいいのでは。
②多様性の解釈	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性の持つ意味が変わってきている。“認める”は外国人をイメージしたものかと思うが、今では家族の在り方や働き方等も含まれている。多様性が“ある”や“あふれる”、また、やさしく“受け入れる”は上から目線に感じるので、“包み込む”といった色んな解釈が可能な表現にすべき。
③産業・しごとの観点の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・医療産業都市で実現した新技術の果実を、市民にフィードバックしていく必要がある。価値の創造に“挑戦する”ではなく、“実現する”というように力強く示すべき。 ・今の神戸には、過去に勢いのあった政策、産業力が失われていると感じている。生活の豊かさや多様性をなす根幹は産業であり、産業育成の観点は非常に重要。 ・含みを持たせるメッセージでは届かない人もいるので、“産業”や“しごと”といった強い言葉が必要。子どもむけに平仮名で“しごと”でもいい。 ・交流拠点という観点から、世界だけではなく、国内の繋がりも大事にして欲しい。
④片仮名表現の具体化	<ul style="list-style-type: none"> ・6段落目が何をイメージしているのか分かりにくい。 ・テクノロジー、グローバルといった片仮名の表記は、使いやすい一方で抽象的な表現になってしまいがち。漢字や平仮名で統一してもいいのでは。 ・片仮名の言葉は、将来陳腐化する可能性がある表現。 ・グローバルとは、以前は世界に出るイメージだったが、今では、世界から入ってくる、選ばれることを指すと思う。 ・構想に危機感や切迫感の文言が必要。表裏一体の表現として、“可能性を創る”や“変化や新しいものを取り入れて可能性を解き放っていく”といったものでも置き換えられるのでは。
⑤前半部分との表現方法の統一	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落に「神戸」を1つずつ入れても面白いのではないかと。

次期・基本構想（第1回審議会の意見を反映した修正案）

仮 もっとずっと みんなに愛されるまち 神戸へ ①スローガンの設定

「陸の要素も」といったご意見もあったが、神戸空港国際化を控える神戸らしさを表す表現として残したい

神戸は、海と山に囲まれた
美しい“みなとまち”です
開港以来、海外との交流を重ね
文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、“多彩な表情を見せるまち”です
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も
毎日違う風景を見せてくれます

神戸は、人間らしい
“あたたかみのあるまち”です
幾度となく困難を乗り越えた絆
多様性があふれる明るい気風
いつでも神戸は
すべてのひとをやさしく包み込みます

②多様性の解釈

これまで神戸には多くのものが
受け継がれてきました
これからも神戸は
世代や立場を超えた繋がりの中で
未来に向けて進んでいきます

まちの伝統と新しい技術の融合により
時代を彩る産業を育てるまちへ
世界を臨む海や空からひとが集い
新たな価値の創造を実現するまちへ
培ってきた経験や知の集積により
グローバルに貢献するまちへ

③産業・しごとの 観点の必要性

④片仮名表現 の具体化

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら
自由に個性を発揮して
それぞれの夢に挑戦できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなす
ゆとりある暮らしができるまちへ

神戸は、いつまでもまちの“誇り”を育み
次代に紡いでいきます

「産業の発展が豊かな暮らしを作る」とのご意見を受け、“産業の段落”と、“くらしの段落”を入れ替え

①スローガンの設定

- ・子ども達でも分かるoneメッセージが必要。神戸をひと言でまとめるのは難しいので、抽象度を上げた表現はどうか。
- ・スローガンの有無についてパブリックコメントを行ったり、スローガンを公募で募集するのもいいのでは。
- ・神戸は多様なまちであり、ひと言で言い表すスローガンは難しい。下位計画に任せてもいいのでは。

【案】

もっとずっと みんなに愛されるまち 神戸へ
And KOBE（そして 神戸）

神戸で、よかった。

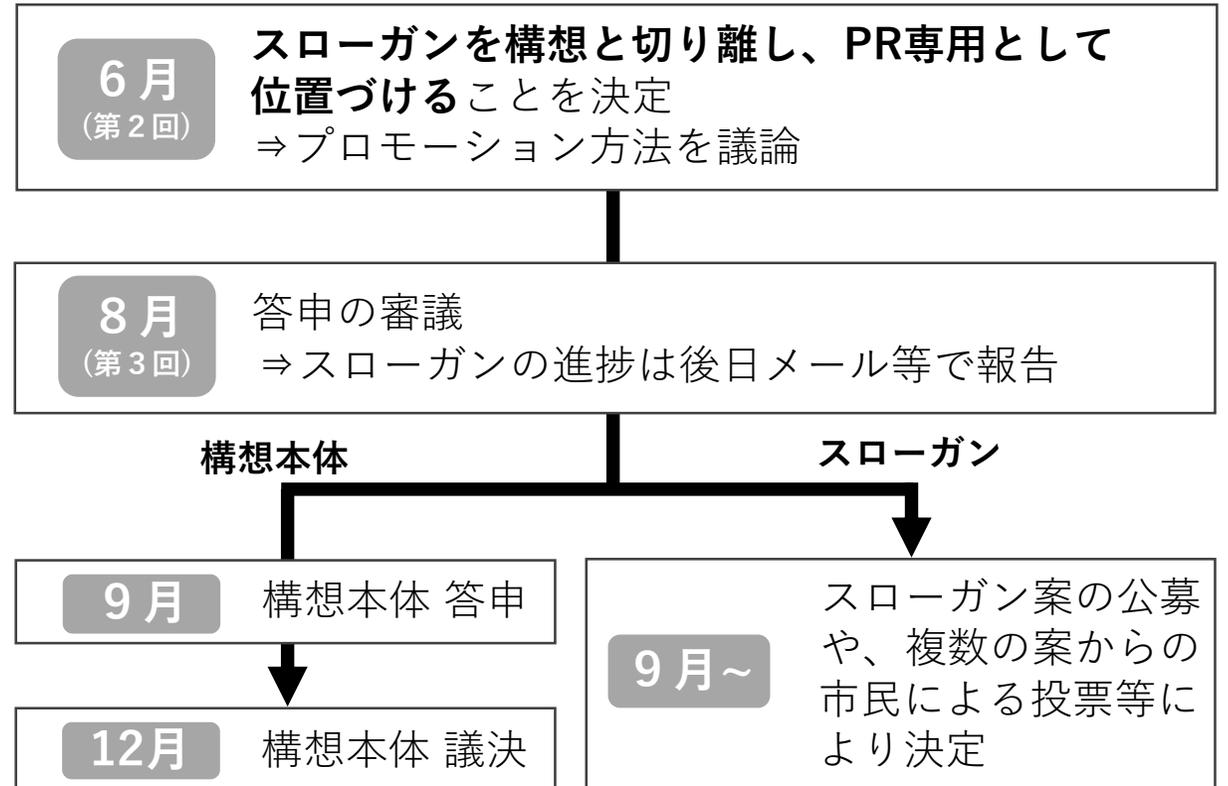
みんながつながるまち 神戸

いいなあ。神戸

やっぱり神戸が好き。

あなたの“好き”が見つかるまち

【対応案】



他都市の事例 基本構想における「産業」「しごと」の記載

北九州市 ○3つの重点戦略の1つとして「稼げるまち」を標榜。

- ・陸・海・空のネットワークや豊富な水資源、エネルギーといったポテンシャルを最大限に発揮しながら、産学官民が一体となって、未来志向の新しい産業やスタートアップ企業の創出や集積を目指します。
- ・市内企業のDXを推進し、AIの活用などによる「生産性向上」や「高付加価値化」の取組を後押しし、誰もがチャレンジできる環境づくりにも取り組みます。

横須賀市 ○ステイトメントに以下の表現

「やりがい」と「やりたい」から“しごと”が生みだされるまちへ
⇒新しいビジネスに挑戦したくなること。仕事も遊びもワクワクできること。海や歴史、文化など横須賀ならではの魅力を生かしていくこと。やりがいとやりたいを“しごと”の原動力としていきます。

東京都渋谷区 ○ステイトメントに以下の表現あり

- ・この街に存在する ありとあらゆる人間を、仕事を、価値観を、ドラマを、チャンス、祝福しよう。
- ・ビジネスの冒険に満ちた街へ。

○また、分野別基本構想でも、“産業振興”を標榜。

- ・渋谷区は、大きなビジネスと小さなビジネスが、理想的に協働する街を目指します。
- ・どんなビジネスにも冒険のチャンスがあります。一歩目を踏み出す勇気と、何度でも挑める意欲を与え続けたい。

新潟市 ○都市像「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」の達成要件の1つに「経済」を位置づけ

- ・地域の外から多様な人材や投資を呼び込み、地域内で経済が循環
- ・食や農など新潟市の強みを活かした革新的ビジネスが生まれ、若者にとって魅力的な就業の機会が創出